【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2000-301747(P2000-301747A)
【公開日】平成12年10月31日(2000.10.31)
【出願番号】特願平11-110639
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｊ　2/32
　Ｂ４１Ｍ　5/26
　Ｂ４１Ｍ　5/28
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｊ　3/20　１０９Ａ
　Ｂ４１Ｊ　3/20　１０９Ｊ
　Ｂ４１Ｍ　5/18　Ｑ
　Ｂ４１Ｍ　5/18　１１２

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月27日(2004.8.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
光ビーム走査光学系１２と共に画像記録手段を構成する副走査搬送手段１４は、感熱材料Ａ（その表面）を記録位置ｘに保持しつつ、主走査方向と直交する副走査方向（図１中矢印ｂ方向）に搬送するものであり、図示例においては、記録位置（走査線）ｘを挟んで配置され、感光材料Ａを記録位置ｘに保持しつつ搬送する、一対の搬送ローラ対３２および３４を有して構成される。
前述のように、記録画像に応じて変調された光ビームＬは、主走査方向に偏向されているので、副走査搬送手段１４によって副走査方向に搬送される感熱材料Ａは、光ビームＬによって二次元的に走査されて、像様に加熱され、加熱量すなわち与えられた熱エネルギに応じた濃度に発色する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
副走査搬送手段１４の副走査搬送方向の下流（以下、下流とする）側には、光ビーム走査光学系１２と副走査搬送手段１４とからなる画像記録手段によって像様に加熱されて発色した感熱材料Ａに、感熱材料Ａの発色色素によって吸収される波長４００ｎｍ～７００ｎｍを含む（全域でも一部でも可）光を照射する、光照射部１６が配置される。感熱材料Ａは、副走査搬送方向に搬送されつつ、この光照射部１６によって全面的に一様露光され、その後、図示しない排出トレイ等に画像が形成されたハードコピーとして排出される。
図示例においては、光照射部１６は、主走査方向に延在する棒状のハロゲンランプ３６と、ハロゲンランプ３６から射出された光を感熱材料Ａに反射する同方向に延在するリフレクタ３８とから構成される。